

南青葉台の桜が危機に瀕しています!!

この夏、ボランティアチーム『クビアカバスターズ』が6月末から8月初旬までに捕殺したクビアカツヤカミキリの成虫の数は、第2公園だけで140匹に上りました。

クビアカカミキリは繁殖力が非常に高く、見つけたらすぐに捕殺しないと、羽化して桜の幹から脱出するとすぐに交尾、産卵し、メス1匹あたり、平均約350個、最大で1,000個以上の卵を産むこともある、とされています。

ひとまず羽化の時期は終わり、現在、バスターズの活動は幼虫駆除の段階に入っています。その被害の程度は想像以上に深刻です。

第2公園73本の桜のうち半数以上が木屑(フラス)を吹いています。

この木屑の発生源を突き止め、薬剤を注入する作業は到底今のバスターズのメンバー2人では追いつきません。

空洞になった枝が折れ、今夏伐採を余儀なくされた枝も何本も出ています。このままでは、近い将来南青葉台から、いや河内長野市から桜は消える、と言われています。

地域皆で協力し、なんとか南青葉台の財産である**桜を守りませんか?**少しでも賛同される方は、南青葉台自治会までご連絡いただけるようお願いします。

自治会 環境衛生委員長

または
自治会 会長
播磨



※写真左から、①「成虫」②「幼虫のフラス」③「成虫の脱出孔」

注：フラスとは、幼虫が排出する木くずとフンが混ざったものです。

引用：大阪府HPより